



九軌電車

九軌沿線御案内北九州図繪

文・藤本一美

text by Kazumi FUJIMOTO

明治四十四年六月五日に創業の九州電気軌道（略称、九軌電車）は、後の西日本鉄道北九州線、一部（黒崎駅前―熊西間）は筑豊電気鉄道に引き継いだ民鉄である。

北九州旧五市一町の門司、小倉戸畑、若松、八幡、折尾町、現在の百万都市北九州市を結ぶ九軌電車の沿線を海側の視点から細密に描写して、「鉄都」八幡の官営製鉄所（後の新日鉄。跡地はスペースワールドや博物館に）を中心とした、戦前の日本の工業力の一翼を担った北九州工業地帯の全貌を彷彿とさせる。

交通の要衝として知られた対岸の山口県下関港や関門海峡、門司港、筑豊炭田の積出港のあった洞海湾には、多数の大型商船、貨物船、漁船、帆船などが浮かび賑やかだ。

この沿線鳥瞰図が刊行された翌年の昭和七年には、沿線に小倉到津遊園が開園。昭和十三年に初三郎画の全景鳥瞰図絵葉書がつくられている。

藤本一美

首都大学東京（都立大学）非常勤講師。日本国際地図学会会員。鳥瞰図・展望図資料室兼山岳情報資料室主宰。近・現代の鳥瞰図絵師の作品収集と研究に精力的に取り組んでいる。著書に『旅と風景と地図の科学Ⅱ』（私家版2006年）、最新刊に『展望の山50選 関東編』（東京新聞出版局）がある。



『九軌電車 [九軌沿線御案内北九州図絵]』

(昭和6 (1931) 年初夏)
九州電気軌道株式会社発行
日本ライン 蘇江の観光社 印刷

西日本鉄道株式会社

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

設立：明治41 (1908) 年12月17日
創立記念日：昭和17 (1942) 年9月22日
本社：福岡市中央区天神 一丁目11番17号

西日本鉄道株式会社 路線図



平成19 (2007) 年ローレル賞を受賞した3000形

100余年の歴史、地域とともに。

福岡県を基盤に、国内有数の車両保有台数を誇る自動車部門と、天神大牟田線・貝塚線の2線を有する鉄道部門で、1日に約101.7万人を輸送している。「西鉄」の名で親しまれる、82社1学校法人からなる「にしてつグループ」の中心。国際物流事業・都市開発事業・住宅事業などの兼業部門も順調な発展を続けている。「『出逢いをつくり、期待をはこぶ』事業を通して、「あんしん」と「かいてき」と「ときめき」を提供しつつ、地域とともに歩み、ともに発展します」を、グループ基本理念に掲げている。



九州電気軌道は、昭和十七年九月、福岡県内中部の九州鉄道、博多湾鉄道汽船、福岡電車、筑前参宮鉄道の四社を吸収合併。合併成立直後に、西日本鉄道(西鉄)に改称している。旧九軌電車の路線は、西鉄北九州線として営業していたが、平成十二年に廃線になった。

図絵中に、あえて下関を描出した理由を、初三郎自身の「絵に添へて一筆」に拾ってみると「下関はやゝ趣を異にして、対岸山口県に其の籍をおいてはいるが、門司との距離は最短部実には五町にすぎず、且つ其の鉄道は門司鉄道局に、要塞司令部は第十二師団に、徴兵区域は小倉連隊に属せるより徴して、どうしても此の連隊区間に挿入せざるを得ない都市であり、内閣が計画せる都市計画も亦、此の六大市を打って一丸とし、以て北九州の一大都市を現出せしむるにあるといふ。…然れば、我が九軌電車は、此の六大都市を結ぶ大切な輸血管であり、同時に是等の労働都市を鞭撻し促進し発展せしめるシンファサイザーでもある」と結ぶ。

なお、初三郎最大のライバルだった金子常光は、「九軌電車御案内」(大正十三年)の陸側視点の沿線鳥瞰図を逸早く残している。